
第1地域 RRFC 便り8月号

【ラビンドラン TRF 管理委員長からのメッセージ】



2020-21 年度 K.R.ラビンドラン TRF 管理委員長

新しい年度が巡ってきました。私たちは本年度も、力を合わせてロータリー一財団を発展、推進させるでしょう。現在、世界は大きな課題に直面しておりますが、皆さまにはリーダーとしての共通の目的意識をもってご支援いただいております、心より感謝申し上げます。

控えめに言っても、現在私たちは、これまでに類を見ない状況に直面していると言えます。コロナ後の世界で私たちが目にするのは、世界中が緊縮経済に突入するという厳しい現実です。人びとの生活を支えるさまざま

な奉仕や支援活動のための資金は不足し、財団のファンドレイジングを行うにしても今は決して最良の時ではありません。しかしそれでも成し遂げなくてははいけません。皆さまのリーダーシップがそれを可能にします。

私たちは多くのニーズと機会に注意を向ける必要がありますが、それでもなお、皆さまには**年次基金の目標額 1 億 3,500 万ドルの達成**に力を注いでいただきたいと感じております。将来のためにも、この資金源を確保する必要があります。ご存知の通り、グローバル補助金はかつてないほどに必要とされ、国際財団活動資金(WF)は極めて大きなニーズに直面しています。だからこそ、年次基金と寄付に重点を置き、**Every Rotarian, Every Year**をRRFCの皆さまに奨励していただくことが以前にも増して重要となります。

人を支えることは、自分を支えることになるものです。そのため私は、7月初めにまずロータリー財団に寄付をします。皆さまにも同じことをしてほしいと感じております。額の多少は重要ではありません。皆さま一人ひとりが個人的に寄付をし、模範を示すことが、ロータリアンを鼓舞することになるでしょう。

年次基金寄付の大体 30%は、ポール・ハリス・ソサエティ(毎年合計 1,000 ドル以上を寄付)のレベルに達している方々からのご寄付であることをご

存じでしょうか。年度の始めにあたり、皆さまが担当されている地区のポール・ハリス・ソサエティ会員をご確認ください。その際は、財団職員が皆さまに支援を提供いたします。地区ガバナーには、ポール・ハリス・ソサエティの推進を呼びかけてください。また、皆さまの知人・ご友人がソサエティ会員となった場合は、皆さまから感謝の言葉をお伝えいただき、皆さまご自身がまだソサエティ会員でないようであれば、ぜひ入会をご検討ください。ポール・ハリス・ソサエティ・レベルのご寄付は極めて重要なものです。寄付者との強いパイプを作り、また関係を育み、メジャードナーとなつていただくことができれば、今後何年にもわたり多大なインパクトをもたらすことができるでしょう。

一人ひとりがコミットメントを果たすことで、チームワークが醸成され、企業や社会は前進し、市民社会が構成されるものですが、これは私たちの取り組みにも当てはまります。この一年、皆さまと共に活動することを楽しみにすると共に、皆さまのご活躍とお力添えに心から感謝いたします。末筆となりますが、皆さまのご健康と安全をお祈りいたします。

敬意を込めて

2020-21 年度ロータリー財団管理委員長

K.R. ラビンドラン

【国際財団活動資金(WF)の最低授与額の廃止】

グローバル補助金のための WF の最低額が、即時有効で廃止となります。

現在、グローバル補助金では、最低予算が 30,000 ドルで、WF の最高授与額が 40 万ドルとなっています。これは、申請者が地区財団活動資金(DDF)、現金、および／または冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせることでグローバル補助金に充てることができることを意味します。財団は、すべての DDF 寄贈に対して同額の WF を提供します。

この新たな方針により、WF から 15,000 ドルを受領するために少なくとも 15,000 ドルの DDF を確保する必要性に縛られることなく、申請者はグローバル補助金のための資金を調達することができます。例として、この新しい方針の下では、次のような方法で資金を調達できます：

DDF 10,000ドル + WF 10,000ドル + 現金拠出 10,000ドル = グローバル補助金 30,000ドルまたは

DDF 5,000ドル + WF 5,000ドル + 現金拠出 20,000ドル = グローバル補助金 30,000ドル

(7月23日に K.R.ラビンドラン TRF 管理委員長からのメールより抜粋いたしました。)

【補助金に関するリソースをご活用ください】

補助金関連に役立つリソースがロータリー財団から届いております。お役立て願えましたら幸甚に存じます。

- [グローバル補助金ガイド](#): グローバル補助金の申請に関心のある会員や、より効果的で持続可能性の高いプロジェクトを実施したいと感じている方に役立つガイドです。研修用リソースとしてもお使いいただけます。
- [重点分野の基本方針](#): 各重点分野の詳しい要件をご確認いただけます。
- [地域調査の方法](#): グローバル補助金の要件である地域調査においてクラブが参考とできるヒントやリソースを紹介しています。
- [補助金管理セミナーの学習プラン](#): ロータリーの[ラーニングセンター](#)にあるこの学習プランには、クラブの補助金への参加資格認定、地域社会調査の実施、効果的なプロジェクトの計画、プロジェクトを持続可能にする方法、補助金資金の管理、補助金の報告など、さまざまなオンラインコースが収められています。地区は、直接顔を合わせるセミナーの代わりにこれらのオンラインコースを利用するか、補足として利用することもできるほか、クラブの参加資格認定

を行う目的で、ラーニングセンターのレポートを活用することもできます。

- [地区を成功に導くリーダーシップ:ロータリー財団委員会編](#):財団関連の委員会・小委員会の構成や補助金・プログラムの種類について説明した手引きです。
- [ロータリーの補助金担当職員](#):補助金関連のご質問にお答えします。
- 2020-21 年度版 [寄付・認証ロータリークラブの手引き](#)が新たに発行となっています。

グローバル補助金のパートナーを見つけるためのリソース:

- [フォーラム](#):交流を通じてプロジェクトのアイデアを学んだり、支援を要請することができます。
- [ロータリー行動グループ](#):特定分野の専門知識を有するロータリアンやその他のメンバーから成るネットワークで、専門的見地から奉仕プロジェクトへの助言や支援を提供します
- [国際共同委員会](#):複数の国のロータリークラブや地区が参加するネットワークで、国際奉仕プロジェクト、新クラブの結成、そのほか

の活動を行っています。

- [プロジェクトフェア](#): 地元地域で実施される奉仕プロジェクトを紹介し、クラブ間の国際協力を促進するための機会となります。
- [ロータリー親睦活動グループ](#): 共通の関心・趣味・職業を土台として結成されるグループです。

[寄付&補助金ニュースレター](#): ファンドレイジング、補助金、関連トピックの最新情報やリソースを紹介したニュースレターです。

【ポリオ担当チームが新型コロナウイルスへの対応を支援】




(poliorefresh_943_letter_ja.pdf)

- ポリオ[リソースセンター](#)から入手できます。

ポリオ根絶プログラムではこれまで、ポリオウイルスの特定やワクチン配布キャンペーンを通じて大規模なインフラを築いてきました。各国のポリオ根絶担当チームは、このインフラを新型コロナウイルス(COVID-19)へ

の対応に活用することで、感染リスクにさらされやすい人、特にポリオ常在国の人びとを新型コロナウイルスから守るべく支援に乗り出しています。パキスタンやナイジェリアといった国では、何十年ものポリオ根絶活動の経験が、政府による新型ウイルス対策の支援に役立てられています。

 ポリオプラス基金への支援、ロータリー財団への支援はオンライン寄付がとても便利です。全てのロータリアンにお勧めします。ぜひご利用ください。

【PHS の集いの札幌開催を企画】

新型コロナウイルス COVID-19 の影響を受けて、2020年4月25日に札幌市において開催を予定しておりましたブラック・タイ・パーティーについて全国各地からお問い合わせを戴いておりました。皆様に開催延期のお知らせした後でも、延期時期が決定したら直ぐに連絡をお待ちしていますと、お声掛けを下された皆様の厚い友情を忘れることが出来ません。そこで、我が第1地域の財団チームで少し気軽な PHS の集いに向けて検討を開始しました。(PHS の認証を兼ねた集い)

決定ではありませんが、日程が分かれば有難いとお声もありましたので、概要をお伝えしたいと思います。冒頭ラビンドラン TRF 管理委員長のメッセージにPHS(ポール・ハリス・ソサエティ)年次基金寄付の17.3%は、ポ

ール・ハリス・ソサエティ(毎年合計 1,000 ドル以上を寄付)のレベルに達している方々からのご寄付であることをご存じでしょうか。地区ガバナー・地区財団委員長・地区ガバナー・エレクトの皆様で、もし PHS のメンバーでない方は是非この機会に PHS のメンバーになられますことを切望いたしております。そして来年4月の「PHS の集い」には御同伴で札幌にご集合をお願いできましたらこの上ない幸せでございます。

【概要について】

「ウエルカムバーベキューパーティーのご案内」

日時: 2021年4月24日(土)午後6時開会(30分前のご集合)

場所: 札幌ビール園(札幌市東区北7条東9丁目 ☎011-207-8000)

「PHS の集い」認証式と気軽なランチ

日時: 2021年4月25日(日)午前11時開会午後1時30分閉会

場所: プレミアムホテル TSUBAKI 札幌(札幌市豊平区豊平4条1丁目)

会費: 1万5千円(前日札幌ビール園にてウエルカムバーベキューを含む)

財団支援: 会費の一部をポリオプラスの支援に充てる予定です。



当日 PHS の認証式を行います。

【白桃に子規の句を添えて暑中お見舞い申し上げます】



(子規は桃も好きだ！)

子規の柿好きは有名でした。日本の句を代表する句に「柿食えば 鐘がなるなり 法隆寺」がありますね。子規は若い頃結核を患い、脊髄カリエスを患いました。身体が熱い時には柿が熱を下げる作用があると聞いたことがあります。それで好きだったのか、桃も喜んで食べたことが伺えます。子規の生涯は34歳という短いものでした。30歳ころ自身の俳号にちなんで「ホトギス」を創刊します。ここで与謝蕪村の研究を行い、俳句の普及に貢献しました。子規の弟子には高浜虚子や河東碧梧桐などがいました。子規が優れた俳人を育成した事に注目しています。何度も出てきますが、夏目漱石も子規に俳句の手ほどきを受けた一人です。今回の句は「桃の如く 肥えて可愛や 目口鼻」この句を連想しながら少し丸々と

肥えた顔を意識して描きました。目口鼻まで思い起こす表情を感じて戴
けましたら嬉しく思います。(羽部)